



NILZZ

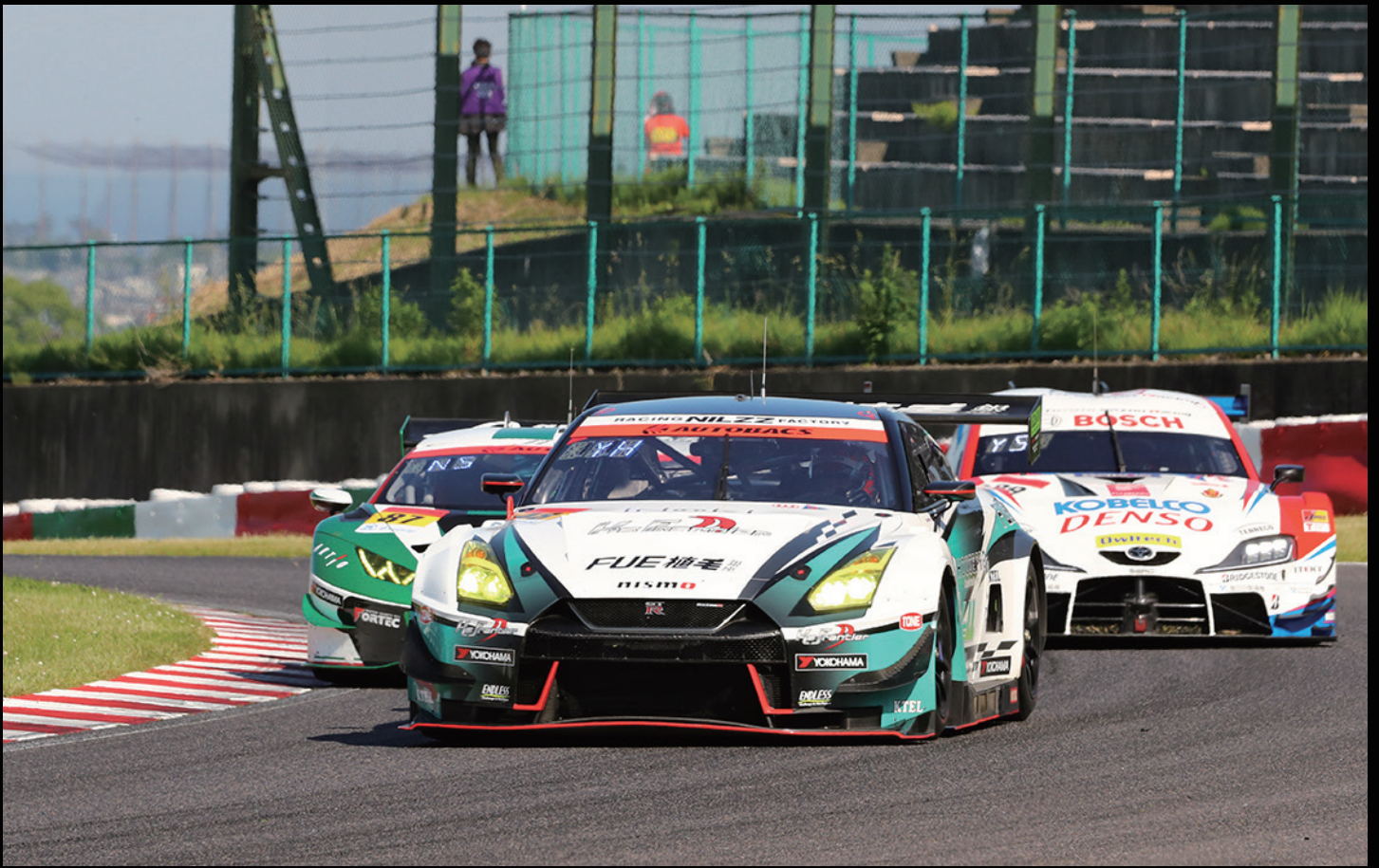
RACING FACTORY

TAKANOKONO HOTEL SUZUKA GT 300km RACE

2022 AUTOBACS SUPER GT ROUND.3 RACE REPORT

カテゴリー	: SUPER GT SERIES 2022 GT300 クラス	公式練習	: 2'01.813 (GT300 クラス 27 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 2'01.255 (GT300 クラス A 組 14 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ----
マシン名称	: 植毛ケーブズフロンティア GT-R	決勝	: GT300 クラス 21 位 (47 周)
ドライバー	: 井田太陽 / 平木湧也		
開催地	: 鈴鹿サーキット (三重県)		
開催日	: 2022.5.28~2022.5.29		
天候	: 晴れ時々曇り (5.28) 晴れ (5.29)		
イベント動員数	: 11,000 人 (5.28) / 21,000 人 (5.29)		





SUPER GT 第3戦”たかのこのホテル SUZUKA GT 300km RACE”が5月28日から29日にかけて、三重県の鈴鹿サーキットで開催。NILZZ Racing は今回、スケジュールの関係で参加できなかった田中優暉に代わり、若手ドライバー、平木湧也を起用した。

コロナウイルス蔓延後、これまで開催日の延期や入場制限等、厳しい状況が続いていた鈴鹿サーキットだったが、今回はようやく行動制限のない状況下での開催となり、スタンド席には多くのファンが集まり賑わっていた。

5月28日(土) 公式練習

好天に恵まれた鈴鹿サーキットは日差しが強く、夏の訪れを感じさせるような暑さとなった。

9時30分より公式練習が行われ、NILZZ Racing は井田のドライブでコースイン。

5周の計測の後、平木に交代。

この日が植毛ケースフロンティアGT-Rの初ドライブとなるため、マシンチェックを行いながら、周回を重ねていった。

セッション後半は飯田が予選シミュレーションを行い、最後の計測で2分01秒813までタイムを短縮。

公式予選はGT300クラス27位という結果となった。

その後行われたFCY訓練は平木が担当し、決勝レースに向けて周回を重ねた。

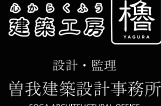
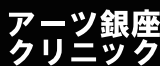
5月28日(土) 予選

予選のアタックドライバーは井田。

公式練習時より暑さが増したように感じるコンディションの中、井田は計測を開始。

3周目に2分01秒255をマークしQ1Aグループは14位という結果となった。

その後、全ての予選が終了した結果、NILZZ Racingの第3戦はGT300クラス26番手からのスタートが決定した。





5月28日(土) 決勝

この日も好天に恵まれたが、気温は予選日に比べ高く感じ、さらに過酷なコンディションとなった。

今回の決勝スタートドライバーは井田。

スタートして間もなく、シケイン侵入でのクラッシュ車両排除のためにセーフティーカー (SC) が導入。

SC 先導により隊列が整い、その後ピット入口がオープンとなったタイミングで NILZZ Racing はピットインを指示。ロスタイムが少なくなるこのタイミングで時間のかかる給油を行う作戦をとった。

その後、SC が解除となりレースは再開。

おそらくレースの最低運転距離となるであろう 17 周を終えた飯田は 2 回目のピットイン。

ここで平木に交代し、残りのロングスティントを託す。

気温、路面温度ともに暑く、ペースコントロールを行いながら周回を重ねていた平木。

レース中盤に差し掛かったところでタイヤが限界ということで 3 回目のピットイン。

タイヤを交換し、レースに復帰した平木。

これまでうまくペースコントロールを行い、フィニッシュまであとわずかと言うところでフロントタイヤに異変を感じた平木。

万が一に備え、緊急ピットインを行いフロントタイヤを交換。NILZZ Racing は 47 周を走破し、完走を果たした。

今回も無事完走できて安堵しております。

これから第 4 戦富士、第 5 戦富士と暑い時期に行われる 450km のロングレースが続きます。

気温の暑さに負けないレースを繰り広げたいと思いますので、皆様引き続きご支援、ご声援を宜しくお願いいたします。

